

科目名	保育実習指導Ⅱ		担当教員	石井 章仁・小久保 圭一郎		
			担当形態	複数		
テキスト	「保育所保育指針解説書」フレーベル館 「認定こども園教育・保育要領解説書」フ レーベル館	単位数 授業形態	1単位	演習	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標 保育所において、子どもや家庭の状況を知り、適切な援助を行うための準備をし、実習後に実習体験のまとめを行うことで、自身の体験を省察し反省的な実践を行う素地ができる。</p> <p><子どもの理解> ・保育所において、子どもや利用者がどのような生活をし、どのように人と関わり、どう成長を遂げるのかなどを背景を知り、援助を考察する。</p> <p><職務の理解> ・保育者の援助と、その基となる保育観や意図を理解し、子ども理解と共に考察する。</p> <p><施設の理解> ・保護者とのかかわりや地域における保育所の使命を理解しようとする。</p> <p><自己課題> ・これまでの実習等から自身が設定したテーマや実習前後で新たに見えてきたテーマについて、自分なりに考察する。</p> <p>■授業の概要 本教科は、保育実習Ⅱのための事前事後指導であり、事前に受ける指導のほか、実習後の指導までが含まれます。1年次からの全ての実習の経験や学びを生かし、保育への知見をさらに深めていきます。保育士としての心構えや態度の習得はもちろんのこと、子ども理解と援助との関係の理解、専門職として自律する自己の理解、さらには、将来どのような職業に就くのかなど、就業を考える機会にもなるようなこれまでの実習での学びの集大成となるように事前・事後の学びを行います。</p> <p>特に実習後の振り返りでは、実習の記録や体験を基に仲間同士で振り返り、自身が実習を通して何を見て何を感じ、目の前の子どものように関わり、なぜそのように考えたかなど、実習のまとめを行います。また、これまでの実習で自分は何を学び、何を獲得したのかといった学びの総括をしていきます。</p> <p>■授業計画</p> <p>第1回 オリエンテーション 第2回 実習の目的・心構え／これまでの学びの確認 第3回 自己課題の発見と目標の設定 第4回 保育所の理解・子ども・保護者・制度等の理解（試験） 第5回 実習園・地域の理解 第6回 ノートの書式と記録の方法 第7回 経過記録とエピソード記録① 経過記録 第8回 経過記録とエピソード記録② エピソード記録 第9回 記録を深め実践につなげる 第10回 保育の過程と指導計画 第11回 課題の整理と目標の設定 第12回 実習で何を学んだか①（事後指導） 語り合い 第13回 実習で何を学んだか②（事後指導） まとめ 第14回 実習で何を学んだか③（事後指導） 発表 第15回 実習のまとめ</p> <p>■準備学習 授業時間外に各自以下の課題に取り組むこと。 ・保育所保育指針についての学習。 ・子どもの発達・保育の制度の学習。 ・各自の準備課題の実施、記入。 ・これまでの実習記録の見直し、修正。 ・低年齢児向けの指導計画の作成。</p> <p>■評価方法</p> <p>・小テスト、提出物等による評価 — 30% ・事後学習の際のふり返りのレポート — 40% ・実習記録 — 30%</p>						
参考文献	特になし	特記事項	<p>・実習準備のため授業の全てに出席することが求められます。</p> <p>・各教科の取得状況、取り組みの状況等によって、実習に臨むことが可能と判断できない場合には、実習に参加できない可能性があります。</p> <p>・事前指導においては、「目標達成別の授業回数」を適用します。それぞれの回の授業の目標が達成されない場合、達成できるまで粘り強く指導を受ける事を必須とします。</p> <p>・実習が不十分で単位が認定されない場合、実習指導も合わせて認定されません。</p> <p>・保育実習Ⅰの単位を修得していない場合、履修出来ません。</p> <p>【課題等のフィードバック方法】 ・事前指導での課題等について必要に応じて授業などで取り上げる等する</p>			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格選択必修	幼				
		保	保育実習			